

【例題－水産2】

次の a～c は、我が国の主要漁獲対象魚種の分布と回遊に関する記述である。各記述と魚種名とを正しく組み合わせているのはどれか。

- a. この種の成魚は、冬季を中心に房総半島以南で産卵した後、北上し、夏季～秋季には三陸沖に達し、この海域を索餌域とする。その後、水温の低下とともに再び南下する。稚魚と若魚は、春季を中心に太平洋南岸から黒潮続流域や黒潮親潮移行域にかけて広く分布し、秋季には北上して三陸沖の海域に接岸する。
- b. この種は、北西太平洋では生活史を通じて大きな反時計回りの回遊パターンを形成する。冬季に生まれた仔稚魚は黒潮や黒潮続流によって東へ輸送され、春季の表面水温の上昇とともに親潮水域へ向けて成長しながら北上する。秋季になると親潮水域の表面水温の低下とともに南下を開始し、冬季には主産卵場である黒潮水域に達する。
- c. この種は、東シナ海からサハリン沿岸や千島列島南部にかけての海域に広く分布し、秋季発生系群と冬季発生系群がある。秋季発生系群は主に北陸から東シナ海北部にかけての海域で10月～12月に生まれ、春季～夏季に水温の上昇とともに日本海を北上する。秋季になると成熟とともに日本海を南下し、産卵海域へ移動する。

	a	b	c
1.	マアジ	サンマ	スルメイカ
2.	マアジ	シロザケ	ブリ
3.	マイワシ	サンマ	スルメイカ
4.	マイワシ	サンマ	ブリ
5.	マイワシ	シロザケ	スルメイカ

(正答) 3